

令和7年度 知徳高等学校 学校関係者評価 総括

知徳 GP	指標	R7実績	自己 評価	学校コメント	評 価 委 員 評 価	学校関係者評価委員 意見・感想等
自律	<ul style="list-style-type: none"> ・学校が楽しい生徒 80% ・学校に困ったことや悩み事を相談できる人がいる生徒 70% ・欠席者数、遅刻者数の前年度比減少 ・授業マナーを守った生徒 85% ・交通事故、問題行動の前年度比減少 ・授業の内容がよくわかる生徒 80% ・スタディサプリを活用している生徒 60%、大進 70% ・授業や日々の学習で iPad を活用している生徒 90% ・納得のいく進路選択ができた生徒(3年)90% 	<ul style="list-style-type: none"> ・79.8% ・76.5% ・欠席6026、遅刻4213(在籍853) ・88.7% ・8件、21件31人 ・71.3% ・33.4%、44, 4% ・93.2% ・91.9% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに増やすために工夫したい ・相談室等さまざまな相談窓口を紹介している ・安易な遅刻を減らす指導を強化しているが ・相互リスペクト、環境整備に課題 ・自転車ヘルメット所持義務化予定 ・R8はAI教材「すらら」を導入し個別対応予定 ・R8はスタサプ利用をやめAI教材「すらら」を授業で利用 ・iPadの活用の幅は広がっている ・生徒の納得感が高い 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・納得のいく進路選択ができた生徒が 9 割を超えている点は、次の生徒募集に繋がります。iPad の活用の幅も広がっていますが、スタディサプリの活用率が低迷しているなど、家庭学習や個別学習の定着には課題が見受けられます。R8 年度から導入予定の AI 教材「すらら」による個別最適化や、安易な遅刻を減らすための指導強化によって、学習理解度と生活規律の両面が改善されることを期待します。 ・学校が楽しいと感じている生徒が多いことは、教育活動の質、教職員の努力の成果といえます。ただ、学習に取り組む習慣や意欲の向上が今後の課題と考えています。 ・安心、安全な学校生活が送れている。先生方に努力に感謝します。
尊重	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別ルールを守り、ごみの削減を意識した生徒 80% ・生徒の居場所となる図書館づくり、図書館の利用者の増加 ・病気の予防や防止を意識して行動した生徒 90% ・クラスや部活など所属集団のよい雰囲気づくりに貢献できた生徒 70% ・地域・社会貢献活動に参加した生徒 70% ・部活加入率 70%、複数部活動のブロック大会・全国大会出場 ・進路第一志望に就職、合格した生徒 80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・86.4% ・貸出冊数は減少 ・79.9% ・67.5% ・46.7% ・79.9% ・92.3% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・校外や文化祭等でのごみ削減分別に課題 ・貸出数減少も様々なイベント企画で利用増 ・1月インフルエンザによる学級閉鎖あり ・集団への向き合い方を SEL で指導している ・探究等で取り組んでいる。自覚をもたせる指導が必要 ・ソフトテ、陸上、アーチェリー、チアがブロック大会以上 ・教員が高い可能性を示したい 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別意識(86.4%)や部活動への積極的な参加など、身近な集団や環境を尊重する姿勢が育っています。社会貢献活動の数値や集団への貢献意識には向上の余地がありますが、学校側が SEL を用いた指導や探究活動における自覚向上に取り組んでいる点は、今後の改善につながる前向きな姿勢であると感じます。図書館の活性化も含め、生徒が多様な「居場所」と「役割」を見出せる環境づくりを継続してください。 ・コミュニケーションや対人スキルの習得、地域や社会への興味・関心を持たせることが求められていると考えています。
創造	<ul style="list-style-type: none"> ・国公立大・難関私大・重点大学への合格前年比増 ・探究発表や私の意見発表で自分の考えを伝えられた生徒 70% ・【大進】英検:1年で準2級合格 100%、2年で2級 50%、3年で2級 100%かつ準1級 1名 ・【福祉】介護福祉士国家試験の合格率 100% ・【創造デザイン】レタリング検定 1 級合格 3 人、2 級合格 15 人 ・在学中の短期留学、卒業後の海外進学等を行う生徒がいる 	<ul style="list-style-type: none"> ・(・12(国公立1+重点11) ・63.1% ・(・1年80%、2年56%、3年2級63%、準1級0人) ・90.5% ・1 級0人、2 級 11 人 ・海外進学2人、留学延べ7人 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・年内入試で勝負できる学力養成を工夫する ・プレゼン機会・研修を増やした成果 ・おおむね達成、IEITS 等への挑戦が課題 ・年度末に発表 ・受験者は増えた ・韓国スタディツアーも実施し8人参加 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼン能力の向上や国際交流の実績は着実に出ています。難関大学合格者数や上位級の英検取得率には改善の余地があります。今後はこれに加えて「年内入試で勝負できる学力」の定着を、新たな教材導入等を通じて図っていくことを望みます ・学習意欲や学ぶ習慣などと関連していると思いますが、目標設定について検討する必要があると考えています。 ・海外を視野に入れた取り組みに結果が出てきている。知徳の特色として継続してほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ・単願者 300 人、R7 入学者数をこえる入学者の確保 ・DX ハイスクール事業を通してのデジタル人材・グローバル人材の育成 ・デジタル化による業務負担の軽減(実感 70%)、ICTを活用した授業実践(実施 70%) ・外部団体・協力者との持続可能な連携にむけた工夫 ・学校の魅力や特色づくりに資する教員研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・単願者 311人 ・理系データサイエンス系進学者増加 ・78%、93% ・探究を外部機関と連携、委託 ・SEL 研修の実施 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルと選抜クラス設置、広報のデジタル化が効果 ・データサイエンス系指定校枠が未利用 ・ハード整備し授業利用の幅広がった ・連携先は増えたが伴走者不足 ・グローバル進学等の研修必要 	<p>A</p> <p>単願者数が目標を上回る 311 人に達したことは、グローバルクラスの新設やデジタル広報といった戦略が市場のニーズに合致した結果であり、高く評価できます。また、ICT 活用授業が 93%という極めて高い実施率を誇り、教職員の業務負担軽減(78%)にも繋がっている点は、学内の DX が理想的な形で進んでいます</p> <p>・授業料の無償化により、入学希望者が増えたこと生徒獲得に向けた戦略がうまく行った結果だと考えています。今後少子化が進む中での学校の魅力づくり、特色ある教育活動がポイントになるのではないのでしょうか。</p> <p>・知徳独自の魅力がある。今後も工夫していただきたい。</p> <p>・教員研修や自己研鑽による教員力の向上は入学者の増加につながる。</p>
--	--	---	---	--

専門分野重点大学・立命館、東洋、駒沢、専修、國學院、帝京、東京経済、神奈川、順天堂、国際医療福祉、日本社会事業、多摩美術、武蔵野美術